

2014年10月15日

～薄板ガラスと樹脂を積層した新材料～
業界初*・<Lamion®> が小田急電鉄のデジタルサイネージに採用
(*当社調べ)

日本電気硝子株式会社（本社：滋賀県大津市、社長：有岡雅行）が開発したガラスと樹脂の複合材料<Lamion®>が、小田急電鉄株式会社のデジタルサイネージ用保護パネルとして採用されました。<Lamion®>のようなガラスと樹脂の複合材料が、こうした分野に採用された事例はこれまでになく、新たな需要が大きく期待されます。

デジタルサイネージは、液晶ディスプレイなどを表示装置として屋外や公共空間で広く使用されていますが、外部からの衝撃に対する安全性や画面の視認性向上のため、一般的に画面外側に透明の保護パネルが装着されています。

通常、保護パネルには、強化ガラスや樹脂(アクリルやポリカーボネートなど)が使用されますが、ガラスは重量があるうえ、割れた際にガラス片が飛散するなど安全面でリスクがあり、樹脂には傷に弱く汚れが取りにくいという欠点があります。<Lamion®>は、これらガラスと樹脂にまつわる問題を一挙に解決する新材料として、様々な分野での用途を見据えて開発されました。そしてこのたび、小田急電鉄より、その機能を高くご評価いただき採用に至ったものです。

日本電気硝子は、今後もガラスや樹脂からの置き換えが可能な分野に対し<Lamion®>のメリット(下記ご参照)を積極的にPRし、事業の拡大に努めてまいります。

■ 採用駅

<小田急小田原線>

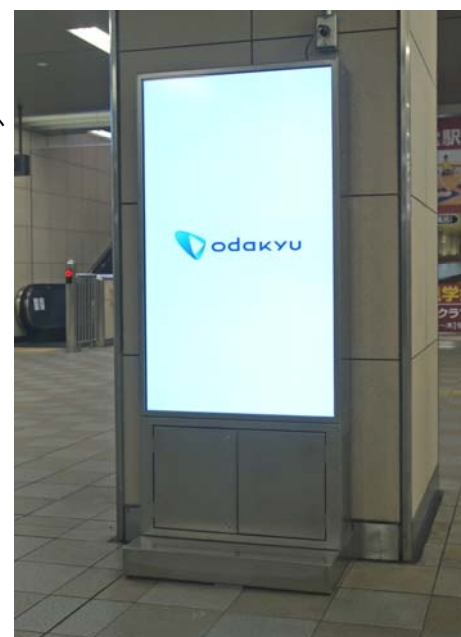
新宿駅、下北沢駅、経堂駅、成城学園前駅、新百合ヶ丘駅、
相模大野駅、海老名駅、小田原駅（全8駅）

■ <Lamion®>によるデジタルサイネージの問題解決

- ・重量が軽いいため、支持金具を簡素化できるうえ、設置作業の労力を軽減する。
- ・衝撃に強く、安全性が高い
(ハンマーで叩いても破片が飛散しない)。
- ・傷が付きにくい。
- ・静電気が生じないため、埃がつかない。
- ・液体や気体を通さず、耐候性が優れている。
- ・画面の視認性が向上する。

■ 製品寸法

別途相談。※上記写真採用例のサイズは、縦1,248×横719mm。



(施工) ソニービジネスソリューション株式会社
(販売協力) 早水電機工業株式会社

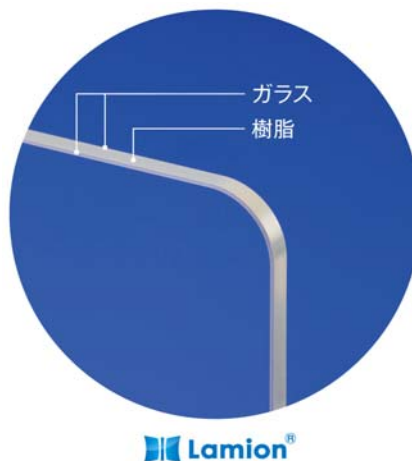
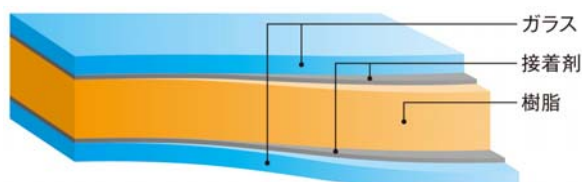
(参考資料)

■ <Lamion®> の特長

薄板ガラスで樹脂をラミネートした、ガラスと樹脂の積層体。

大変軽く、傷や衝撃に強いのが特長です。

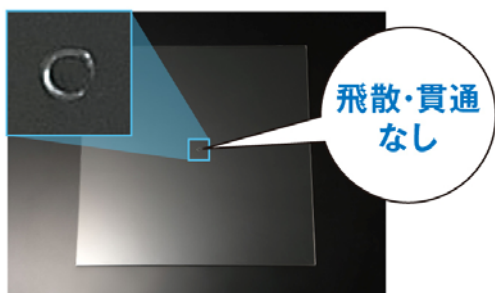
構造図



① 軽量化を実現



② 衝撃に強く、貫通しにくい



Lamion®



普通のガラス

耐衝撃性・耐貫通性が高く、高さ2mから130gの鋼球を落としても砕け散ることはありません。

(リリース内容に関するお問い合わせ先)

日本電気硝子株式会社 総務部 (広報担当)

TEL : 077-537-1702

(製品に関するお問い合わせ先)

電気硝子建材株式会社 開発統括部 小嶋

TEL : 06-6392-2711